



**Audience Research for Continuing Improvement:
behavioral analysis of museum visitors**

宮田公佳・竹内有理・安達文夫

①はじめに

②入館動向調査の目的

③調査方法

④調査結果

⑤考 察

⑥むすび



今日、わが国においても観客の視点に立った博物館運営の重要性が認識されつつある。それを実現するには、観客の側からみた博物館の評価が欠かせないものとなる。これまで以上に観客について知ること、来館者の博物館体験について知ることが求められており、国立歴史民俗博物館においても、観客調査を試み始めている。本論文では、当館で実施している様々な観客調査の中から来館者の観覧行動を分析した調査を取り上げ、その結果について報告する。観覧行動の具体的な調査方法と分析方法について検討を行い、来館者の見学順路、各展示室の在室時間および在館時間、そして展示室別入室者数の時間的推移を定量的に分析することによって、博物館の建物の構造や展示室の配置が来館者の観覧行動に与える影響などを明らかにした。